

日本学術会議シンポジウム  
「今後の政府統計のあり方とその有効活用」

期日 平成 19 年 10 月 24 日（水）18：00-20：00

場所 愛媛県県民文化会館別館

プログラム

■挨拶 岸玲子（北海道大学大学院医学研科社会医学専攻予防医学講座）

■座長 小林章雄（愛知医科大学医学部衛生学講座）

小林廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）

■シンポジスト

福田吉治（国立保健医療科学院疫学部疫学情報室長）

公衆衛生分野における政府統計等の二次利用の有用性と課題

祖父江友孝（国立がんセンター研究所がん情報研究部長）

がん統計における政府統計の利用と課題

橋本英樹（東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学教授）

社会医学・政策研究向けデータの公共性についての一考察

笠島茂（国立保健医療科学院公衆衛生政策部行政政策室長）

わが国における政府統計の有効活用について：国勢調査コホート事業の提言

■挨拶 實成文彦（香川大学医学部人間社会環境医学講座）

日本学術会議パブリックヘルス科学分科会シンポジウム

企画責任者 日本学術会議連携会員

小林章雄

愛知医科大学医学部衛生学講座

〒480-1195

愛知県愛知郡長久手町岩作雁又 21

Tel: 0561-62-3311 内線 2369, 2371

Fax: 0561-63-1982

e-mail: fumio@aichi-med-u.ac.jp